

## 2. と畜場搬入牛における牛白血病の発生状況

○ 菅 麻美子、下司 高弘、葛岡 功弥子、安達 有紀、細井 美博

豊橋市食肉衛生検査所

### 【はじめに】

牛白血病は、地方病型と散发型に分類され、このうち地方病型は、牛白血病ウイルス (BLV) の感染により発症する。牛白血病は、1998 年の家畜伝染病予防法の改正に伴い新たに届出伝染病とされたが、その届出頭数は 1999 年の 169 頭から 2009 年には 1,142 頭と年々増加してきている。と畜場法においてもとさつ禁止・全部廃棄の対象疾病であることから、その発生動向には十分留意する必要がある。今回、当所における牛白血病の発生状況と本病と診断された牛の血清中 BLV 抗体の保有の有無を調査したので報告する。

### 【材料及び方法】

1. 牛白血病発生状況：2002 年 4 月から 2010 年 3 月の 8 年間に管内と畜場に搬入された牛 91,006 頭のうち牛白血病と診断された 59 頭 (0.06%) について、年齢、品種、病変の分布及び年度別推移について調査した。

2. BLV 抗体保有状況調査：2008 年 4 月から 2010 年 3 月の 2 年間で牛白血病と診断された 37 頭の保存血清を用いて、受身赤血球凝集反応法(牛白血病抗体アッセイキット「日生研」)により抗体価を測定した。判定は測定キットの使用法に従い、定性試験、定量試験、阻止試験を行い、抗体価 16 倍以上のものを陽性とした。

### 【結果及び考察】

1. 発生状況では、59 症例の心臓、肝臓、脾臓、躯幹リンパ節、付属リンパ節(肺・肝)に病変が好発し、年齢別発生率は、1 歳未満 0.14% (1/739 頭)、1 歳以上 2 歳未満 0.06% (16/28,301 頭)、2 歳以上 3 歳未満 0.03% (18/59,671 頭)、3 歳以上 4 歳未満 0.55% (3/549 頭)、4 歳以上 5 歳未満 0.87% (4/459 頭)、5 歳以上 6 歳未満 0.77% (3/392 頭)、6 歳以上 1.56% (14/895 頭)であった。3 歳未満の牛における品種別発生率は、黒毛和種 0.13% (11/8,762 頭)、交雑種 0.03% (19/57,923 頭)、ホルスタイン種 0.02% (5/21,988 頭)の順で高値を示した。発生率の年度別推移では、2005 年度以降に増加傾向が見られ、2008 年度 0.11% (13/12,082 頭)、2009 年度 0.20% (24/11,886 頭)であった。

2. BLV 抗体の陽性率は 97.3%(36/37 頭)となり、調査牛の多くが BLV の感染により発症したと推定された。と畜場において発見される牛白血病の数は年々増加しており、今後も増加が危惧される。食肉衛生のみならず家畜防疫面からも、今後もと畜場における牛白血病の発生動向について情報発信に努めたい。